

## 放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果（公表）

事業所名 ハッピーテラス太田教室

		チェック項目	はい	いいえ	該当なし	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	1,利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか	60.0%	40.0%	0.0%	利用人数や活動の内容によっては狭く感じる。机や椅子、棚などの場所を整備している。	
	2	2,利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか	100.0%	0.0%	0.0%	職員人数や利用生徒の様子などによって各職員が状況判断して動いている。	送迎サービス中の職員配置に不安がある。加算上の人数配置の調整を失敗していたため今後注意していく。
	3	3,生活空間はこどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか	60.0%	40.0%	0.0%	部屋の名前や遊具など、イラストや文字で利用生徒にわかりやすいように場所を明記している。	部屋と部屋の間に段差がある箇所があり、車いすの方の利用には適していない。
	4	4,生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	80.0%	20.0%	0.0%	毎日、掃除だけでなく使用した遊具や事務用品の消毒を行っている。半年に1回のペースでエアコンや空気清浄機の清掃も行っている。	
	5	5,必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	60.0%	40.0%	0.0%	生徒からの要望に応じて、別室の使用を開放している。	壁の上部が職員室やトレーニング室と繋がっているため、完全な個室とは言えず、大きな声を出す両方に聞こえてしまう。
	6	6,業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100.0%	0.0%	0.0%	朝礼や定例会議等、情報共有や協議の場を設けている。	
業務改善	7	7,保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80.0%	20.0%	0.0%	保護者アンケートを通して要望や意見を取り入れ、改善や対策検討に努めている。	
	8	8,職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%	0.0%	朝礼や個別支援計画会議、定例会議などにおいて情報共有を行っている。また、緊急時にはその都度話し合いを行っている。	
	9	9,第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	60.0%	40.0%	0.0%	コンサルタント会社による会議を取り入れている。	第三者委員会の設置は行っていない。
	10	10,職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100.0%	0.0%	0.0%	外部研修の受講案内や日時調整等、可能な限り参加できるように機会を設けている。	
	11	11,適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100.0%	0.0%	0.0%	年に一度見直しを行いホームページにて公表している。	
	12	12,個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	保護者との面談を基に、職員間で話し合い計画を作成している。	
	13	13,放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.0%	0.0%	0.0%	実際に支援にあたる職員が全員参加できる日程を選び、会議を実施している。	
	14	14,放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.0%	0.0%	0.0%	支援計画会議での決定事項や内容を回覧にて全職員に周知し支援を行っている。	
	15	15,こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	80.0%	20.0%	0.0%	個別支援計画会議で定めた短期目標に対する入力ができる日報システムを導入し、利用日は全項目に記録を残している。	アセスメントツールはあるものの、活用はあまりできていない。

適切な支援の提供	16	16.放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100.0%	0.0%	0.0%	保護者や本人の要望、最近の様子や課題等を共有したうえで、話し合いを行い設定することができている。	近年、外国人の方の利用が増えており、保護者の方との言語コミュニケーションに少し不安を感じている。翻訳ツールを用いた面談を実施しているが、細かく伝えたい部分については課題が残っている。
	17	17.活動プログラムの立案をチームで行っているか。	80.0%	20.0%	0.0%	イベントに関して、職員間で案を出し合って決定している。本社より共有された教材を教室に合うように見直すことで、質の高い支援を提供できるように心掛けている。	プログラムについて、毎回はチーム全体で立案できておらず、職員個人によることが多い。
	18	18.活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	60.0%	40.0%	0.0%	内容が同一のものにならないように、利用者に合わせて各職員で工夫している。	活動内容が固定化されてきている部分もある。
	19	19.こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100.0%	0.0%	0.0%	集団療育を基本としつつ、利用者の目標や状況に応じて個別と集団でより効果の高い方法を常に検討し対応している。	
	20	20.支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	80.0%	20.0%	0.0%	朝礼等の時間を使い、必要に応じて事前に情報共有や役割分担の話し合いを実施している。	当日の実施前に必ず行っているわけではない。
	21	21.支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	20.0%	80.0%	0.0%	緊急性の高い事項については、当日中に共有・対応をしている。	勤務時間やサービス提供時間の関係上、毎回当日中に行うことは難しい。
	22	22.日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.0%	0.0%	0.0%	計画で定めた短期目標に対する支援内容の記録を毎回取ることができている。	
	23	23.定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	決められた期間ごとに、併用施設や相談員、保護者を交えたモニタリングを行っている。	
	24	24.放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	60.0%	40.0%	0.0%	基本活動から外れないことを意識しつつ、余暇時間のコミュニケーション活動を重点的に考えて支援を行っている。	地域交流の機会の提供に関して、イベントでの出先での少しのかかわり程度しか行うことができていない
	25	25.こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	60.0%	40.0%	0.0%	今の状況や本人の気持ちを代弁を行い、自己理解と状況把握の補助をしつつ、できること・したいことなど、総合的な考え方をして判断ができるように支援を意識している。	トレーニング中など、人数や活動内容によっては機会を提供できないこともある。
関係機関や保護者との連携	26	26.障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	日ごろから子どもと関わったり日報を確認したりして子どもの様子を把握している児童発達支援管理責任者が出席をしている。	
	27	27.地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	80.0%	20.0%	0.0%	相談員を挟み、保護者の希望の聞き取りを行ったうえで、連携や協力を積極的に行っている。	
	28	28.学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	80.0%	20.0%	0.0%	基本的には保護者の方との情報共有を主としているが、お迎えの際に学校から情報共有をしてもらったり様子を聞いたりすることもある。	学校送迎の有無や学校によって情報の共有量に差があると感じる。
	29	29.就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	60.0%	40.0%	0.0%	保護者の方から様子を伺うようにしている。	現状保育所や幼稚園と対面での情報共有をした経験がない。サービス等利用計画や自宅・保育園等での様子の記録用紙をいただけることがあり、それを参考にしている。
	30	30.学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	保護者に確認を取ったうえで、就労先事業所と情報共有や移行支援会議を積極的に行っている。	

関係機関や保護者との連携	31	31,地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	60.0%	40.0%	0.0%	行政主催のもと、研修に積極的に参加している。児童発達支援センターとの顔合わせもできている。	児童発達支援センターを利用することはあるが、研修受講の経験はない。
	32	32,放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	60.0%	40.0%	0.0%	外出イベント等で児童館を利用する機会は設けている。	施設名を出して児童館の利用はしているが、地域の子供との交流を主目的とした機会は少ない。また、地域の子に知られたくない、と希望する生徒もいるため対応に難しさを感じている。
	33	33,(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	60.0%	20.0%	20.0%	自立支援協議会ではなく、地域の連絡会や部会に参加している。	参加するのは管理者が主で、指導員の参加機会があまりない。
	34	34,日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	支援後や送迎時、面談など様々なタイミングで報告や情報共有を行っている。また、3ヶ月に1度、生徒の総合的な評価や様子を含めた記録を全利用者へ発信している。	
	35	35,家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	20.0%	80.0%	0.0%		家族支援プログラム研修を受講した者がおらず実施できていない。
保護者への説明責任等	36	36,運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	契約時に説明をしたうえで、質問の時間を取って相互理解をして理解度を深められるような対応を心掛けている。	
	37	37,放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.0%	0.0%	0.0%	計画の更新時期に面談を行い、最近の様子や要望を確認する機会を設けている。	
	38	38,「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100.0%	0.0%	0.0%	更新の際には必ず説明を行い、同意をいただいたうえで確認の署名と複写をお渡ししている。	
	39	39,家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	報告時などに相談を受けた場合には、積極的に対応している。内容によっては改めて面談の時間を設けるなど真摯な対応を心掛けている。	
	40	40,父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0.0%	100.0%	0.0%	きょうだいで利用・交流はよくあるため、教室で安心して過ごせるように様子を見守っている。	保護者同士の交流機会の提供は行っていない。利用を知られたくない家庭もあるため慎重な対応が必要と思われる。
	41	41,こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	いただいた意見を全体共有し、教室運営の向上に努めている。苦情を言っただけに感謝をし、真摯に対応するよう職員一同心掛けている。	
	42	42,定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	毎月、活動内容を紹介する通信を発行している。また、ブログやSNSにてイベント活動の掲載を行っている。	保護者の方との連絡調整にSNSの活用を検討している。
	43	43,個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	個人情報に関しては、鍵付きのキャビネットに保管し、退勤時には必ず施錠をしている。	利用者や保護者同士での交流の中で、個人が特定できてしまったりトラブルに発展したりする危険性を感じる。
	44	44,障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.0%	0.0%	0.0%	会話でのコミュニケーションが難しい利用者に対して、視覚的な案内や道具などの様々な手段を用いて意思の疎通ができるように心掛けている。	
	45	45,事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0.0%	100.0%	0.0%	地域交流を希望する家庭とそうではない家庭があるため、慎重な判断が必要と考えている。	

非常時等の対応	46	46,事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	職員への周知徹底を行っている。また、研修や訓練の時間を確保し職員全体で取り組んでいる。	
	47	47,業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	年に一度見直しを行っている。また、年間のスケジュールに沿って研修・訓練を実施している。	
	48	48,事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	契約時に聞き取りと個人票への記入をお願いしている。	
	49	49,食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	40.0%	40.0%	20.0%	契約時に個人票に持病や予防接種歴、アレルギーなどを細かく記入してもらっている。	医師の指示書を必要とするほど重度のアレルギーを持つ利用者がいない。
	50	50,安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100.0%	0.0%	0.0%	計画を基に、毎月点検や研修・訓練を行っている。またヒヤリハットを積極的に作成し再発防止に努めている。	
	51	51,こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	契約時の説明に加え、今年度より、毎月発行する通信にて内容の周知を行っている。	
	52	52,ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.0%	0.0%	0.0%	全職員が積極的に記録を残すように心掛けている。回覧用紙を用いて全職員へ共有したり毎月行われる会議で情報共有を行ったりして再発防止に努めている。	
	53	53,虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.0%	0.0%	0.0%	虐待防止のチェックリストを毎月全職員が実施している。施設内研修だけでなく、外部主催の研修にも積極的に参加するようにしている。	
54	54,どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	契約時に具体的にどういった場面で身体拘束をするのか、どういったものが身体拘束に値するのか説明を行い、同意をいただいたうえで個別支援計画に記載をしている。		

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。